

# ドローン実証縁で協定

## キャリア技研 大樹、広尾、幕別町と

【大樹・幕別・広尾】大樹、幕別、広尾の3町は5日、ドローン(小型無人飛行機)を使ったシカ駆除システムの実証試験を行うキャリア技研(本社名古屋市、富田茂社長)と、それぞれ連携協定を結んだ。シカ駆除や環境保全、防災、人材育成、教育などで協力し、同社は3町で事業展開を広げる。

## シカ駆除や防災、教育で



連携協定を結んだ(左から)飯田町長、野々部グループ長、酒森町長、村瀬町長。手前はキャリア技研のドローン

同社は、無人飛行ロボット、自動操縦などの技術開発会社。ドローンによるシカなど有害鳥獣駆除では、5年ほど前から愛知や岐阜で研究開発を始めた。2年前から大樹町晩成に拠点を設置し、森林、平原など試験効果を確認しやすい十勝でも実験を実施。食害など林業や農業被害を防止と、大樹町森林組合(水谷隆司組合長)とも協力する。ドローンからシカの苦手を音を発生させ追い立て、効率良く捕獲する技術などを試験し、シカの食肉加工にも取り組んでいる。5日は大樹町役場で調印式が開かれ、酒森正人町長、飯田晴義幕別町長、村瀬優広尾町長が出席し、キャリア

技研の野々部和夫技術管理グループ長と協定書を取り交わした。

酒森町長は「愛知、岐阜で大変な成果を持つ会社。3町が協定を結べたのは意義深い。ドローンを活用した事業展開が進めば」と話した。飯田町長は「エゾシカ一斉駆除などで協力したい」とし、村瀬町長も「幅広い活用ができれば」と期待した。野々部グループ長は「(3町の)広いフィールドで実証実験をさせてもらえるのありがたい」と述べた。(真尾敦)